

# 2

内科的症状

## 休日・夜間にけいれん(ひきつけ)を起こしたとき

※頭をぶつけてけいれんを起こした場合は、外科的対応が必要です。👉 P-1 参照

### 観察する



落ち着いて、  
しっかり  
見ましょう

- 目の位置、手足の状態
- けいれんの持続時間（余裕があったら）
- 体 温（けいれんが治まったら）



※ 高熱が出たときにけいれんを起こすことがあります。  
多くは心配のない熱性けいれんで、  
生後6か月から5歳頃までに起こります。  
熱性けいれんは体全体で左右対称に起こります。

### けいれんではありません

急に熱が出て体がふるえているが意識ははっきりしている。

👉 寒けでふるえているだけ。暖かくして様子を見ましょう。

はげしく泣いた後に体がつっぱった。

👉 泣き入りひきつけです。自然に回復するので心配いりません。

### 家庭でできること

- 平らなところに静かに寝かせ、呼吸がしやすいように衣服をゆるめる。
- 顔を横に向ける（吐いたものを吸い込んで窒息することがないように）。
- まわりに危険なものがないか確認する（ストーブ、熱湯、刃物など）。